

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月2日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	飯塚市	代表者名	片峯 誠
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0948-22-5500
担当者役職	主任	担当者氏名	川畑 夏希
住所	820-8501 福岡県飯塚市新立岩5-5		

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	管理監督職向けの研修とは異なり、なぜ今自治体にデジタル化が必要なのか、一般職員にはどのような力が必要なのかといったことを分かりやすくご講義いただきました。
アドバイザーへの要望事項	終了時間を予定通り終わるようご配慮いただければよかったです。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月28日	10時00分	16時30分	60	330
3-2. 派遣場所	会場名	飯塚市役所		最寄駅	-
	所在地	福岡県飯塚市新立岩5-5		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	講演(実地)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員(一般職員、情報政策課、人事課)	49人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	自治体DXに取り組むにあたり、職員のデジタルマインドが低い状態にあり、「デジタル化することにより、電子とアナログの処理があり職員の負担が増える」、「何をデジタル化すればよいか分からない」といった声もあり、業務のデジタル化を推進するにあたり、非常に苦慮している。また、これまでアナログで行ってきた業務をデジタル化すると、進め方やそれに取り組む労力に対して、デジタル化が非常に毛嫌いされている傾向がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員のデジタルマインドの醸成やDXに取り組む重要性を意識し、庁内業務や市内のDXのきっかけとする。デジタルトランスフォーメーション、今後のデジタル化を自分事として考えられる職員を育成する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	DX、デジタル技術を取り入れることによる業務改革、デジタルトランスフォーメーションを踏まえたマネジメントへの変革の必要性、広報戦略(自治体の実施しているデジタル化を外部にアピールする)重要性等、なぜデジタルトランスフォーメーションが必要なのかを重点的に研修していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	デジタルトランスフォーメーションを取り入れる重要性や必要性について、職員の意識の変革があったと感じている。これからの社会情勢(人口減少、高齢化等)は今までの業務の仕方ではいけないことを認識した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 デジタルトランスフォーメーション、デジタル化への職員意識
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今回研修を受けた職員は一部であり、全庁的な職員の意識改革を今後も実施する必要がある。2日の研修で直前に欠席になる職員が多く、そのような職員程今回の研修を受講する必要があると感じているため、今後どのようにして研修を受講させるかが課題。管理監督職よりも取り組み姿勢は低い印象があるため、自分事として前向きにデジタルトランスフォーメーションを取り入れる意識を醸成する必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 管理監督職と同様に研修を受講することにより、デジタルマインド(デジタル化)意識は醸成されつつあるが、具体的に自分の業務へつなげる方法が不明確である職員も少なくない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	庁内業務や市民サービス、市内のデジタルトランスフォーメーション化。	

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※コロナ対策で密を避けるため、本庁以外の職員はオンラインで出席しております。  
こちらのハードコピーはホームページへの掲載はお控えください。